



アイセフツー
第2回国際宇宙探査フォーラム(ISEF2)について

平成 30 年 1 月
文部科学省 研究開発局

3月3日(土)に、文部科学大臣主催で宇宙探査に関する閣僚級の国際会議「第2回国際宇宙探査フォーラム(ISEF2)」を開催いたします。人類の活動領域の拡大、人類共通の知見・経験・利益の獲得への挑戦である宇宙探査について、ハイレベルの政府関係者が集まって、宇宙探査やその国際協力の重要性、今後の協力の在り方等について議論し、国際宇宙探査の持続的な進展を促すための会議です。

1. 背景・経緯

- 2009～2011年、欧州主導の宇宙探査ハイレベル会議が、宇宙探査における国際協力促進のため、閣僚級を含む政府レベルでの対話・意見交換の会合として開催。
- 2014年、この会合を引き継ぐ形で、国際宇宙探査フォーラム(International Space Exploration Forum: ISEF)を米国で開催。
- 第2回国際宇宙探査フォーラムについて、ISEFに出席した下村文部科学大臣(当時)から、日本が主催することを表明。

《参考》 第1回国際宇宙探査フォーラムの概要

【場所】米国 ワシントン D.C.

【日時】2014年1月9日(本会合)、10日(関連イベント)

【参加国・機関】35か国・地域・機関

2. ISEF2 開催概要

閣僚級会合(本会合)

【日程】3月3日(土)

【参加対象】宇宙探査に関心を持つ世界各国・地域の宇宙分野の閣僚級を含む政府ハイレベルの関係者や宇宙機関長等(最大60か国・500名程度:招待者・随行者のみ)。

【想定される成果文書】

- 共同宣言
- ISEF 運営規約
- 国際宇宙探査の共通原則
- フォーラムサマリー

サイドイベント

閣僚級会合の機会に合わせて、宇宙探査に関する国民の認知度向上、宇宙産業の裾野の拡大、若手の人材育成を目的として、若手・産業界向けのイベントを開催予定。

① 若手向けイベント

(1) Y-ISEF, ISEF for Young Professionals

国内外の学生や多様な分野で活躍するヤングプロフェッショナルが集って宇宙探査について闊達な意見交換を行い、次世代を担う若手のキャリア形成やネットワーキング、宇宙に対する興味喚起の機会とします。

【日程・場所】

2月28日(水):筑波宇宙センター、3月1日(木)~3日(土):東京都内

【参加対象】国内外の18~35歳程度までの学生や社会人80名程度を公募。

※ウェブサイト:<http://www.isef2-se.space/y-isef/>

(2) S-ISEF, ISEF for Students

国内の高校生に対して、宇宙探査に関する研究成果を発表し、国内外の若手研究者等と意見交換を行う場を提供し、今後の研究をさらに発展させる一助とします。

【日程・場所】3月3日(土)、東京都内

【参加対象】宇宙探査に関する研究に取り組んでいる高校生28名を公募。

② 産業界向けイベント(I-ISEF, ISEF for Industry)

宇宙探査における国への期待や課題、産学官各々が担う役割などについて議論するとともに、宇宙探査の将来の拡がりや新たなビジネス・経済活動としての可能性を共有することで、宇宙探査推進の機運を高め、宇宙ビジネス拡大への契機とします。

【日程・場所】3月2日(金)、ウェスティンホテル東京(東京都目黒区)

【参加対象】

- 宇宙探査への参加に興味を持つ非宇宙産業や、宇宙探査への新たな取組を行うベンチャー企業を含む、国内外の企業、投資家、一般聴講者

※ウェブサイト:<http://www.isef2-se.space/i-isef/>

3. 関連ウェブサイト、SNS アカウント

関連情報を随時更新しますので、以下のウェブサイトやアカウントをご確認ください。

- ISEF2 ウェブサイト <http://www.isef2.jp/jp/index.html>
- ISEF2 サイドイベントウェブサイト <http://www.isef2-se.space/>
- 同 Facebook アカウント Y-ISEF & I-ISEF @YISEF.IISEF
- 同 Twitter アカウント Y-ISEF/I-ISEF @YISEF_IISEF

ISEF2 閣僚級会合で取り上げられる予定の事項
(2018年1月11日時点)

<宇宙探査の重要性と利益>

- 宇宙探査の重要性や人類への利益
- 宇宙探査への国家投資の理由と価値

<国際宇宙探査の促進>

- 国際協力の重要性や国際宇宙探査への期待
- 国際宇宙探査における新たなプレイヤーの増加

<宇宙探査プログラム・プロジェクトのビジョンと推進>

- 各国の宇宙探査ビジョンやプログラム
- 人類の太陽系への進出に向けた共通ビジョンの推進方法

<その他>

- サイドイベントの開催結果概要等
- 国連における宇宙探査への取組

I S E F 2 サイドイベントの検討状況

産業界向けサイドイベント (I-ISEF)

3月2日(金) 於: ウェスティンホテル東京 (参加者登録制、ウェブ中継予定)

- ・ 国内外の産業界 (非宇宙産業を含む) や投資機関を対象に、宇宙探査の認知度の向上や民間企業による宇宙産業参入の門戸拡大のための議論を行うとともに、参加者間のネットワーク形成の機会を提供
- ・ 会場に 38 の企業・団体 (うち海外 7 企業・団体) による 展示スペース を設置
- ・ 企業及び一般聴講者含め 450 名から登録がなされている。

I-ISEF プログラム (現時点での調整状況)

セッション名	主な登壇予定者等
オープニング (開会挨拶)	内閣府
I-ISEF 開催に寄せて (宇宙開発がもたらすもの)	経済産業省
基調講演 (人類が宇宙探査に出る意義)	チルトン ボーイング社副社長
パネル 1 (2030 年代の社会経済とイノベーション)	ワーナー 欧州宇宙機関(ESA) 長官 ケーハン ミア・バロジック社創設者 (代表取締役/スタンフォード大) 富山和彦 株式会社経営共創基盤 CEO 茂木健一郎 ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー 他
パネル 2 (月面・小惑星における産業と経済効果)	袴田武史 株式会社 iSpace 代表取締役 オシネロ SpaceX 社シニア・ディレクター (この他、インド、ロシアからの登壇者等を調整中)
昼食/ネットワーキング	スポンサー: 有人宇宙システム株式会社、エアバス社、他
Y-ISEF レポート (次世代からのメッセージ)	Y-ISEF 優勝チーム
パネル 3 (様々な産業領域から見た宇宙探査の可能性)	深堀昂 ANA ホールディングス (旅行業界) ラッシュ Made In Space 社代表取締役 (製造業界) 小野島一 大林組 (建設業界) 渡辺公貴 株式会社タカラトミー (エンターテインメント業界) 作尾徹也 ミサワホーム株式会社取締役常務執行役員 (住宅業界) 梅澤高明 A. T. カーニー (米コンサルティング) 日本法人会長
パネル 4 (宇宙探査ビジネス拡大に向けた政策)	アルアハビ アラブ 首長国連邦 UAE 宇宙機関長官 山川宏 内閣府宇宙政策委員会委員 角南篤 政策研究大学院大学教授 米国航空宇宙局 (NASA)、イタリア宇宙機関 (ASI) 他
クロージング (閉会挨拶)	文部科学省

ヤング・プロフェッショナル向けサイドイベント(Y-ISEF)

2月28日(水)～3月3日(土)

於：スタートアップハブ東京、他(参加者登録制、一部ウェブ中継予定)

- ・ 大学、宇宙機関、民間企業(非宇宙分野も含む)等の様々なバックグラウンドを有するヤング・プロフェッショナル84名(うち海外からの参加者41名(24ヶ国))が参加(概ね35歳以下を対象)
- ・ 参加者は、ワークショップに加えて、JAXAつくばセンターのサイトツアーや国内外のメンターによる宇宙分野でのキャリア形成に関する相談会にも参加。
- ・ 10のグループに分かれて、月・火星・小惑星での新たな事業活動をテーマとしたアイデアソン※を実施。
※ 宇宙機関の政策決定者や宇宙飛行士による講演、班別討議(グループディスカッション)や各班によるアイデアの発表を通じたワークショップ。
- ・ 3月1日に開催するワークショップは、スピーカーやモデレータ、メンターとして、宇宙飛行士や研究者、国内外の宇宙機関、民間企業等の参加者の協力も得て実施
- ・ 優勝グループにはI-ISEF及び閣僚級会合でプレゼンの機会が与えられる。

国内高校生向けサイドイベント(S-ISEF)

3月3日(土) 於：スタートアップハブ東京(参加者登録制、ウェブ中継予定)

- ・ 日本全国16チームから選考された7チーム28名が、宇宙探査に関連したテーマ(自由)について英語で研究発表(口頭発表、ポスター発表)。
- ・ それぞれの発表内容に関し、宇宙飛行士を含む国内外の有識者やY-ISEF参加者との討論を実施。